

## 2. 中央卸売市場を核とした地域活性化のコンセプト

### 市場 (B t o B)

#### 市場基礎機能の強化による市場ブランドと安全・安心の実現 (B t o B)

市場が本来もつ卸売機能の効率化・高性能化とブランド力の向上

##### (1) 市場の現状を踏まえた持続可能な施設整備

- 県内外の食の流通拠点機能：交通の結節点（西名阪自動車道、京奈和自動車道）

##### (2) 市場施設のコンパクト化・物流動線整理による効率化

- 効率的な流通システムの構築：物流会社による共同配送、市場内作業の負担軽減

##### (3) HACCPの考え方を取り入れた衛生管理に基づく安全・安心な食の提供

- ① 安全・安心な食の提供：コールドチェーン化、閉鎖型施設
- ② HACCP導入による食品衛生管理の「見える化」
- ③ 指定場所以外における喫煙の禁止

##### (4) 場内事業者による新たな「奈良市場ブランド」の創出

- ① 高度な加工品製造：県産食材を活用した「奈良市場ブランド」の構築
- ② 地場産品の取扱強化：集荷から販売までの仕組み構築
- ③ 人材育成：定期的な研修会開催

### 賑わい創出 (B t o C)

#### “食”と親和性が高く、観光への相乗効果の高い機能との複合化 (B t o C)

市場が取り扱う「食」を活用した一般消費者向けの新機能の導入

##### (1) 卸売市場のコンパクト化・物流動線整理による余剰地の活用

- 時間や性質の異なる活動の連鎖による市場の余剰地及び空き時間の活用促進

##### (2) 「食べる」「買う」「学ぶ」「遊ぶ」を一体的に提供できる施設づくり

- 奈良県の食の情報発信拠点：フードホール（食物販+飲食）  
～奈良の魅力を体感できる食～
- 多様な世代が楽しめる新たな観光スポットの形成
- 地域経済効果の高い多様なイベントを開催できる空間確保：多目的ホール  
～五感で楽しめるエンターテイメント～
- インバウンド観光を含む広域集客の拡大・観光消費額の増大：宿泊施設  
～癒しとくつろぎのリラクゼーション空間～

##### (3) B t o B との連携による相乗効果の発揮

- 賑わいの創出によるまちづくりへの貢献



### 市場 (B t o B) 賑わい創出 (B t o C) を支える多面的取組の展開

「食」を扱う市場として責任ある廃棄物対策の実践  
廃棄物の排出抑制や循環的利用の促進 など

災害発生時に備えた市場機能の確保  
浸水対策、地震対策 など

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現  
子育て世代が安心して働ける保育機能整備 など

### 市場を核とした周辺地域との共生

交流人口の拡大

市場を訪れる多くの観光客等

快適で利便性の高い「生活圏の創出」

市場で働く人や周辺住民等の生活サービスの充実

周辺企業の活性化

周辺事業者の事業拡大等

## 3. 民間活力とノウハウを活かした施設整備

- 民間企業へのヒアリング、個別対話方式及び事業者提案等を活用し、新たな導入機能や施設整備・維持管理・運営の方法等についての整理
- 物流センター機能の導入など効果が期待できるものの積極的な導入検討